

| 解 禁 日 時 | |
|---------|----------------|
| 新 聞 | 2月21日(火)付朝刊 |
| ラジオ・テレビ | 2月20日(月)午後6時以降 |

令和5年度 主要事業説明資料

【こども若者対象事業のうち新規、拡充事業のみ抜粋】



令和5年2月

滋賀県長浜市

令和5年度主要事業一覧表

【計60事業】

| 事業名 | 事業概要 | ページ | 予算額 (千円) | 債務負担 行為(千円) | 区分 | 担当課 |
|----------------------------------|--|-----|-------------|---------------------|----|------------------|
| 重点プロジェクト | | | | | | |
| 11事業 | | | | | | |
| 多様で柔軟な「働き方の創造」プロジェクト | | | | | | |
| まちなか出店支援事業 | 中心市街地や北国街道木之本宿周辺の遊休不動産を活用し、地域の魅力を高める新規出店にかかる費用を支援 | 1 | 8,000 | | 新規 | 商工振興課 |
| 長浜に人を呼び込む「活躍の場創造」プロジェクト | | | | | | |
| まちあそび場事業(学生サードプレイス) | 学校と家庭の中間に第3の居場所「まちあそび場」を提供し、高校生を中心とした学生に関心のある講座、セミナー等を開催 | 2 | 403 | | 新規 | 政策デザイン課 |
| 長浜市役所まちあそび部事業 | まちの資源を活かした「まちあそび」のアイデアを若者が出し合い、地域の様々な人・団体等の協力を得ながら実践 | 3 | 900 | | 新規 | 市民活躍課 |
| ハマコン・N-LAP事業 | スタートアップを応援できる人的資源を活用し、若者の提案を社会貢献や起業につなげる「ハマコン」「N-LAP」を実施 | 4 | 500 | | 新規 | 政策デザイン課 |
| 学生・研究者を長浜に呼び込むフィールド化事業 | 大学に働きかけ、選定した地域課題を解決するフィールドワークを支援し、地域の取組に実施報告書の活用を図る | 5 | 780 | | 新規 | 政策デザイン課 |
| 学生サポートチーム設立事業 | 市内高校への出前講座や高校生クリエイター育成を進める等、地域の多様な人々による学生のサポートチームを設立 | 6 | 341 | | 新規 | 政策デザイン課 |
| 子どもと若者を包括的に応援する「未来のこども育成」プロジェクト | | | | | | |
| 子どもと若者に関する実態調査事業 | 10～30歳代に対し、本市に対する意識、就職、婚姻・出産・子育て及び転入・転出等に関する実態調査を実施 | 7 | 4,825 | | 新規 | 政策デザイン課 |
| 地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業 | モデル地域を設定し、地域と学校の連携・協働の仕組みと体制づくりを進めるための実証事業を実施 | 8 | 493 | | 新規 | 生涯学習文化課 教育指導課 |
| それぞれの地域が魅力を高め合う「持続的なまちづくり」プロジェクト | | | | | | |
| 地域脱炭素実行戦略策定・推進事業 | 基本計画をふまえ、基礎調査や事業化検討を行い、地域特性を活かしたモデル構築や具体的な実行戦略を策定 | 9 | 46,082 | | 新規 | 政策デザイン課 |
| 南長浜地域関係検討業務 | 南長浜地域のまちづくりに関する検討会議を行い、南長浜地域まちづくりのコンセプトのリスト化を進め、実現可能性を検討 | 10 | 1,093 | | 新規 | 政策デザイン課 |
| デマンドタクシー運行事業の拡充 | 現在のデマンドタクシー運行区域から、「総合病院」「商業施設」に行けるよう、区域外停留所を設置する実証実験 | 11 | 6,700 | | 新規 | 都市計画課 |
| 行政デジタル化 | | | | | | |
| 7事業 | | | | | | |
| 市民サービスの利便性向上に関する取組 | | | | | | |
| 屋外広告物管理のシステム化事業 | 現行の統合型GISの機能を拡張し、屋外広告物の許可・通知・届出の業務を処理 | 12 | 8,954 | | 新規 | 都市計画課 |
| 放課後児童クラブ施設へのネットワーク環境整備事業 | 放課後児童クラブで使用する施設にネットワーク環境、必要な端末機器を整備し保護者との連絡、労務管理をデジタル化 | 13 | 7,230 | | 新規 | 子育て支援課 |
| 地域課題解決に関する取組 | | | | | | |
| 自治会活動デジタル化促進事業 | 自治会活動に対し、パソコン・タブレットなどのデジタル機器の導入やコミュニケーションアプリの導入経費の一部を補助 | 14 | 8,135 | | 新規 | 市民活躍課 |
| デジタルスキルを生かした新しい女性の働き方支援事業 | 「スキルを生かした女性の『新しい働き方』の支援」を行うため、デジタル技術を学ぶことができる講座を実施 | 15 | 1,580 | | 新規 | 人権施策推進課 |
| 長浜市観光MaaSシステム構築事業 | 観光と交通の情報を一元化し、予約から決済まで行うことができる観光MaaSシステムの構築 | 16 | 13,904 | | 新規 | 観光振興課 |
| DX実証実験プロジェクト事業 | デジタル技術の活用により地域課題の解決等を図ることを目的にDX実証実験プロジェクトを実施 | 17 | 9,151 | | 拡充 | デジタル行政推進局 |
| 行政運営の効率化・デジタル化に関する取組 | | | | | | |
| 電子決裁を推進する新たな文書管理システムの導入 | 電子決裁機能を有する新たな文書管理システムを導入 | 18 | | 103,000 (R5～R11) | 新規 | 総務課 デジタル行政推進局 |
| 民間活力導入 | | | | | | |
| 3事業 | | | | | | |
| 税務課まるごとGX事業 | 課税資料スキャン、RPA導入、業務最適化・業務改善に向けたコンサルティングを委託 | 19 | 9,037 | | 新規 | 税務課 |
| 0次健診の外部委託 | 個別健診化及び健診に係る受診者対応業務の一括委託 | 20 | 13,600 | | 新規 | 健康推進課 |
| 林道維持管理業務の外部委託 | 重要路線の維持管理業務に加え、林道維持に関する予備補修工事、災害時のパトロール、復旧工事等を一括して外部委託 | 21 | 22,000 | | 拡充 | 森林田園整備課 |

| 事業名(予算細事業名) | 事業概要 | ページ | 予算額 (千円) | 債務負担 行為(千円) | 区分 | 担当課 |
|-----------------------|--|-----|-------------|----------------------|----|--|
| 基本的な施策 | | | | | | |
| 政策1 市民・自治 | | | | | | 39事業 |
| 政策1 市民・自治 | | | | | | 1事業 |
| 神田まちづくりセンター整備事業 | 神田まちづくりセンター改築にかかる実施設計を完了し、改築工事に着手 | 22 | 13,892 | 564,000 (R5~R6) | 拡充 | 市民活躍課 |
| 基本的な施策 | | | | | | |
| 政策2 教育・文化 | | | | | | 8事業 |
| 小・中学校校舎等長寿命化改修事業 | 計画的に予防保全型の長寿命化対策を進める大規模改修及び部位修繕の実施設計 | 23 | 773,795 | 2,460,000 (R5~R9) | 拡充 | 教育総務課 |
| 学校ICT活用推進事業 | ICTを活用した学習活動の充実、校務の情報化による業務の軽減と効率化により、教育の質の向上を目指す | 24 | 72,510 | | 拡充 | 教育改革推進室 |
| 市民で支える小学校給食費補助事業 | 小学校に在籍する児童の保護者に対し、学校給食費の全額を補助 | 25 | 241,607 | | | すこやか教育推進課 |
| 部活動の地域移行推進事業 | 実情に応じた部活動のあり方や地域移行の取組方針を示した推進計画を策定し、新しい部活動の環境を整備 | 26 | 3,461 | | 新規 | すこやか教育推進課 教育指導課 スポーツ振興課 生涯学習文化課 |
| 長浜バイオ大学と地域の連携のあり方検討事業 | 長浜バイオ大学と地域の連携のあり方を検討し、学生の豊かな学びや、地方創生の推進を図る | 27 | 644 | | | 政策デザイン課 |
| 滋賀国スポ・障スポ大会開催対策事業 | 各種会議、先催県大会視察、各種イベント等を実施し、開催準備やPR活動を展開 | 28 | 16,940 | | 拡充 | スポーツ振興課 |
| 湖国フィールドミュージアム推進事業 | 戦国・近世・近代のテーマ別動画の作成やポータルサイトの構築を進め、文化観光のデジタルプロモーションを推進 | 29 | 16,364 | | | 観光振興課 歴史遺産課 |
| 観音の里・祈りとくらしの文化伝承事業 | 観音の里・祈りとくらしの文化伝承会議の運営、地域の実情に即した保存伝承・拝観対応の促進、東京観音堂設置 | 30 | 17,797 | | | 歴史遺産課 |
| 政策3 健康・福祉 | | | | | | 10事業 |
| 子ども医療費助成事業 | 子育て家庭に経済的な安心感を広げるため、引き続き医療費を助成 | 31 | 165,143 | | | 保険年金課 |
| 小児救急医療体制確保支援事業 | 子ども医療費拡充に伴い、小児救急体制を確保するための補助 | 32 | 13,175 | | | 地域医療課 |
| 子ども食堂等活動団体支援事業 | 福祉活動としての子どもたちの居場所づくりや子ども食堂等を定期的に開催している団体に対し、運営経費を補助 | 33 | 160 | | 新規 | 社会福祉課 |
| 民間放課後児童クラブ参入促進事業 | 民間放課後児童クラブ参入促進に向けた家賃や土地賃借料の補助 | 34 | 6,000 | | | 子育て支援課 |
| 長浜こども家庭センター運営事業 | 市内に居住する妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を行うため、「長浜こども家庭センター」を設置 | 35 | 2,328 | | 新規 | 子育て支援課 |
| 民間子育て支援センター新設支援事業 | 地域の子育て支援事業の提供体制の充実を図るため、民間子育て支援センターの設置にかかる費用について補助 | 36 | 14,244 | | 新規 | 子育て支援課 |
| 中等度難聴高齢者補聴器購入支援事業 | 聴力の低下により日常生活に支障がある高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用を助成 | 37 | 1,200 | | 新規 | 長寿推進課 |
| 病院経営形態検討事業 | 今後の市立長浜病院及び長浜市立湖北病院が担うべき役割及び経営形態を検討するため、検討委員会を設置 | 38 | 11,606 | | 拡充 | 地域医療課 |
| 保育所等整備支援事業 | 認可保育所等を整備する社会福祉法人等に対して施設整備事業費の補助 | 39 | 190,118 | 240,000 (R5~R6) | 拡充 | 幼児課 |
| 使用済み紙おむつ園処分転換事業 | 使用済み紙おむつの処分費用、園処分が必要となる一時保管場所等の環境を整備、ごみ収集運搬業務の委託 | 40 | 4,482 | | 新規 | 幼児課 |

令和5年度主要事業一覧表

【計60事業】

| 事業名(予算細事業名) | 事業概要 | ページ | 予算額 (千円) | 債務負担 行為(千円) | 区分 | 担当課 |
|----------------------------|--|-----|-------------|--------------------|----|-------------|
| 政策4 産業・交流 | | | | | | 8事業 |
| 長浜450年戦国フェスティバル事業 | 長浜450年を記念し「戦国(近世)」をテーマとした観光イベント開催支援、観光DX等による集客の仕組づくり | 41 | 43,432 | | 新規 | 観光振興課 |
| 長浜450年記念企画展開催事業 | 「長浜450年戦国フェスティバル」関連事業として、秀吉や歴代城主、長浜城の歴史等を紹介する記念企画展開催 | 42 | 4,586 | | 新規 | 歴史遺産課 |
| 湖の辺のまち長浜未来ビジョン推進事業 | 未来ビジョン推進エリアにおいて、居心地の良い空間づくりや、交流の場の創出につながる社会実験事業を実施 | 43 | 31,250 | | 拡充 | 商工振興課 |
| 中心市街地来街者データ収集・分析事業 | 中心市街地にAIカメラを設置し、人流の変化を把握し、来街者の人流属性を分析 | 44 | 944 | | 新規 | 商工振興課 |
| 女性農業者活躍推進事業 | 女性の地域農業への参画を推進するため、女性農業者組織の活動を支援 | 45 | 150 | | | 農林政策課 |
| スマート農業導入支援事業 | スマート農業に取り組む農業者を支援するため、スマート農業に必要な機械や設備の導入を補助 | 46 | 8,000 | | 拡充 | 農業振興課 |
| 地域計画(人・農地プラン)策定推進事業 | 集落等での話し合いにより目指すべき将来の姿を明確化する「地域計画」の策定を推進 | 47 | 151 | | 新規 | 農業振興課 |
| 森林境界明確化事業 | 関係者と連携し、森林境界や所有者特定のための登記情報の取得、合成公図の作成及び相続調査等を推進 | 48 | 1,762 | | 拡充 | 森林田園整備課 |
| 政策5 安心・安全 | | | | | | 2事業 |
| 防災行政無線更新事業 | 長浜地区、浅井地区の防災行政無線について、設備の更新と機能強化に係る実施設計を実施 | 49 | 12,300 | | 拡充 | 防災危機管理局 |
| 消防団拠点施設(屯所)整備事業 | 災害時の出動がスムーズに行えるよう、周辺状況や老朽化程度等の現状を考慮し、拠点施設等を更新 | 50 | 60,000 | | 拡充 | 防災危機管理局 |
| 政策6 環境・都市 | | | | | | 10事業 |
| 宅配ボックス設置促進事業 | 宅配物の再配達を解消を図るため、宅配ボックスの設置を支援 | 51 | 870 | | 新規 | 環境保全課 |
| 太陽光発電システム等設置促進事業 | 太陽光発電、定置式蓄電、HEMSに加え、電気自動車への給充電ができるV2Hを新たに追加し支援 | 52 | 20,200 | | 拡充 | 環境保全課 |
| 事業所用太陽光発電設備等導入支援事業 | 市内の中小企業者等に対し所有する事業所に太陽光発電設備や蓄電設備導入を支援 | 53 | | 20,000 (R5～R6) | 新規 | 商工振興課 |
| 子育て世帯・若者夫婦のZEH住宅等新築支援事業 | 子育て世帯・若者夫婦による高い省エネ性能(ZEH水準相当)を有する住宅の新築・購入を支援 | 54 | 17,500 | | 新規 | 住宅課 |
| 豊公園再整備事業 | 管理棟、防災倉庫棟、便所棟、既設建屋解体を行い、自然豊かな憩いの場として、魅力ある都市公園を再整備 | 55 | 126,000 | | 拡充 | 都市計画課 |
| 都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定事業 | 長浜市都市計画マスタープランを改定するとともに、新たに立地適正化計画を策定 | 56 | 299 | 26,600 (R5～R6) | 新規 | 都市計画課 |
| (仮称)神田スマートインターチェンジ整備事業 | 国による新規事業化箇所採択を受け、詳細設計や土質調査を実施 | 57 | 23,800 | | 拡充 | 道路河川課 |
| 地福寺神照線整備事業 | 地福寺神照線(駅前通り～市道南田附神前線)の整備に係る道路改良等工事、街路用地購入、物件移転補償 | 58 | 225,600 | 152,000 (R5～R6) | 拡充 | 道路河川課 |
| 木之本宿道路整備事業 | 市道田部木之本線の改良工事により、観光回遊性の向上及び良好な居住環境を両立した道路空間を創出 | 59 | 154,500 | | 拡充 | 建設課 |
| 北部地域振興事業 | 「丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備協議会」が実施計画に基づき、地域振興事業の具現化を推進 | 60 | 71,003 | | 拡充 | 建設課 丹生ダム対策室 |

新規

まちあそび場事業（学生サードプレイス）

1 目 的

若者世代の市外流出が顕著となる中、若者自身の声を取り入れる交流の機会を創出することで、若者が魅力を感じ、笑顔で集えるような楽しいまちづくりを進めるため、学校・家庭の中間に位置する学生の「サードプレイス」を提供し、学生ネットワーク・コミュニティの構築に取り組みます。

2 内 容

若者が魅力を感じるまちづくりは、若者の声を聞かなければ始まりません。

さざなみタウンや駅周辺の施設など高校生達を中心に若者が多く集まれる場所を「まちあそび場（学生サードプレイス）」として提供します。

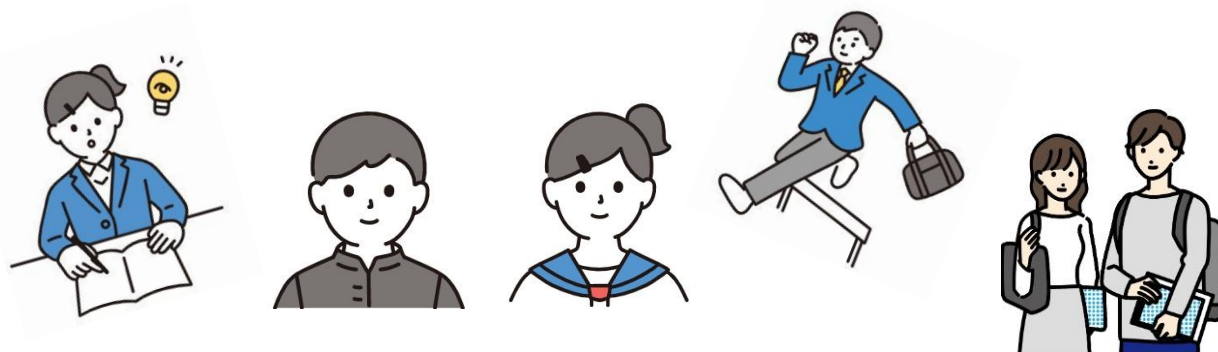
まちあそび場では、SNSの活用やEスポーツ、文化芸術など幅広い分野から、若者の興味関心を引き出す講座やセミナー等を開催し、若者の「何かやってみようかな？何かやってみたいけど…」を応援し、学外における新しい出会いや活動を通じ、若者が自由に参加し、意見や思いを言い合えるコミュニティの場を構築していきます。

- ・学生向けセミナー、講座の開催
- ・コミュニティ参加者との意見交換会

3 予 算 額 403千円（基金：403千円）

4 効 果

若者が自由に参加し、意見を言い合えるコミュニティを通じ、普段、取り入れることが難しい若者の生の声や、ニーズ、思いを職員がコミュニティの現場に飛び込んでいくことで把握し、若者が真に魅力を感じ、住み続けたいと思えるまちづくりへとつなげます。



担当：政策デザイン課 企画経営戦略係

副参事 小野 祐二 TEL 65-6505 内線 84-4424

新規 長浜市役所まちあそび部事業



1 目 的

人口減少やライフスタイルの変化によりまちづくりの担い手不足が深刻化する中で、若者・女性・関係人口を含む幅広い人が関わるまちづくりの推進が課題となっています。地域資源を活用し、高校生や大学生の目線で、楽しみながらまちに関わる「まちあそび」事業を進めることで、高校生や大学生がまちづくりの担い手として、継続的に地域で活躍することを目指します。

2 内 容

高校生と大学生が、自由にアイデアを出し合い、若者の目線で「楽しそうなこと」「やってみたいこと」「あったらいいな」と思う、まち（長浜市）の資源（モノや人など）を活かした「まちあそび」を、地域の様々な人・団体などの協力を得ながら実践します。

- 様々なまちあそびにチャレンジ（随時）
- 定例交流会（月1回程度）



3 予 算 額 900千円（基金：900千円）

4 効 果

若者起点の新しい取組が増え、自分にあった関わり方ができる活動が増えることで、若者・女性・関係人口を含む幅広い人が関わるまちづくりが推進でき、担い手不足の緩和と新たな魅力の創造によるまちづくりの活性化が期待できます。

担当：市民活躍課 協働推進係
係長 北村 直樹 Ⅸ65-8711 内線84-4353

1 目 的

本市には、東京ー長浜リレーションズなど都市部で長浜を応援する組織と市内で多種多様な活動を行う団体があり、スタートアップを応援できる人材は豊富です。それらの人的資源を活用し、ハマコン・N-LAP事業を実施することで、市民特に若者のアイデアを磨き上げ、社会貢献活動や起業につなげ、若者活躍による元気なまちを作り上げることを目的とします。

2 内 容

○ハマコン

長浜で実現したい計画案（例：野菜摂取で市民を健康にしたいなど）がある人が集まり、その計画案をプレゼンテーションし、ブレストと呼ばれるアイデア出しのワークショップで磨き上げ、実現につなげる取り組みです。

○N-LAP (Nagahama Local Acceleration Program)

ハマコンよりも、具体的な計画案（社会貢献活動や起業）のある人・グループを募り、デザイン思考やマーケティングなどを学ぶセミナーやメンタリングを行い、計画案を実現につなげる取り組みです。



3 予 算 額 500千円 (基金：500千円)

4 効 果

この取り組みにより、長浜で新たな視点での活動が始まるとともに、応援された若者たちが、長浜に対する愛着を感じ、将来の定住、または関係人口として長浜に関わり続けることにつながります。

担当：政策デザイン課 企画経営戦略係

担当課長 安藤 和人 TEL 65-6505 内線 84-4461

学生・研究者を長浜に呼び込む フィールド化事業

1 目 的

近年、大学のカリキュラムにおいて、地域の魅力を発掘し、地域住民の困りごとを解決しようとするフィールドワークの取り組みが、盛んになっています。一方、長浜には、自然、歴史、文化など豊富な資源がありながら、全てが活用されているわけではないため、地域資源を活かして大学のフィールドワークを積極的に受け入れ、地域を賑やかにするとともに、地域課題の解決を図ることを目的とします。

2 内 容

大学と地域の協議により、解決すべき地域課題を選定し、大学生の一定期間（2週間程度）の該当地域でのフィールドワークを支援します。活動後、学生には、実施報告書の作成を求め、地域住民に共有し、その後の地域での取組に活用していきます。



3 予 算 額 780千円（基金：780千円）

4 効 果

大学生が長浜でフィールドワークを実施することで、長浜に愛着を持っていただけるとともに、地域の魅力を発掘し、地域課題の解決を図り、地域住民にとって住みよいまちを構築します。

担当：政策デザイン課 企画経営戦略係
担当課長 安藤 和人 TEL 65-6505 内線 84-4461

新規 学生サポートチーム設立事業



1 目 的

高校の「総合的な探求の時間」を活用した地域との交流や協働事業を通じて、地域との多様な関わり方や働き方、長浜ならではの魅力を発見し、郷土愛の醸成や若者の地域定住、将来のふるさと回帰を図れるよう、地域の多様な人々によるサポートチームをつくります。

2 内 容

○市内高校への出前講座

地域で活躍する企業人や事業者、クリエイターなど幅広い方々が、対話や協働事業等を通じ、地域との関わりやチャレンジしている取組など長浜で働き、暮らす魅力を高校生に伝えることで、長浜における将来の働き方や生き方について考えるきっかけとします。

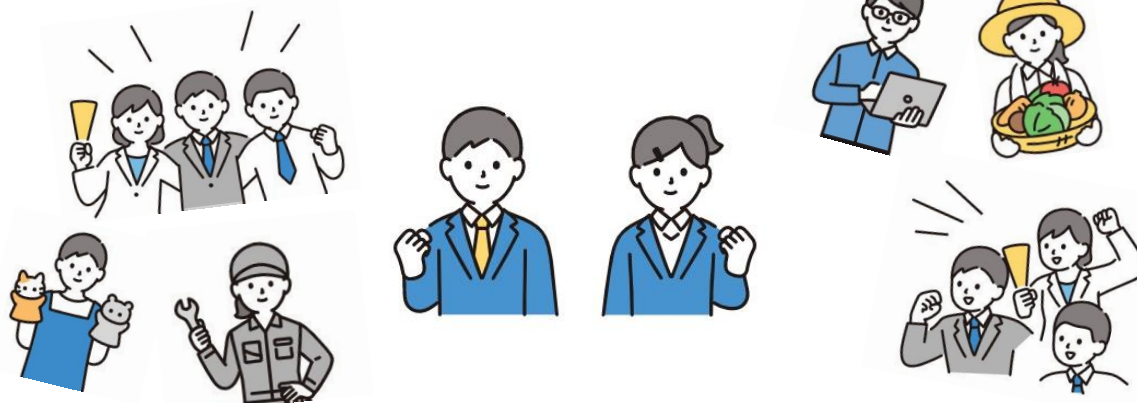
○高校生クリエイターの育成

地域で活動するクリエイターたちの協力によりSNSでの情報発信などクリエイター活動を得意とする高校生のスキルを伸ばし、そのスキルを地域活動に取り入れることで、地域と関われる仕事として確立し将来も長浜で働き続けることができる仕組みにつなげます。

3 予 算 額 341千円 (基金：341千円)

4 効 果

地域の様々な分野の大人達が高校生と関わり、高校生と地域との新たな人間関係を構築していくことで、若者の将来の働き方や暮らし方など、現在もこれからも長浜に住み続けられるビジョンを描き、若者の地元定住や将来のふるさと回帰につなげることができます。



担当：政策デザイン課 企画経営戦略係

副参事 小野 祐二 TEL 65-6505 内線 84-4424

1 目 的

若者の転出超過の原因や課題を把握するため、子どもと若者に関する実態調査を実施し、今後のこども・若者活躍、子育て支援関連施策の検討を深め、本市の課題の一つである若者の転出超過の改善につなげます。

2 内 容

10～30 歳代の子どもや若者を対象に、本市に対する意識や、就職、婚姻・出産・子育て及び転入・転出等の実態を調査するため、ライフステージごとに以下の4つアンケート調査を実施します。

○ライフステージごとのアンケート調査

- ①中高生対象アンケート …学校と連携し長浜への愛着度等を調査
- ②18-30 歳代対象アンケート …市外転出者に長浜に住むための課題を調査
- ③婚姻・出産・子育て世代対象アンケート
…調査票を郵送し結婚・子育てに関する実態を調査
- ④転入出者対象アンケート …転入・転出の理由を調査

3 予 算 額 4,825 千円（基金：4,825 千円）



4 効 果

若者等の実態を把握することで、こども・若者活躍、子育て支援関連施策の効果的な検討につなげ、地域の持続可能性を高めます。

担当：政策デザイン課 企画経営戦略係

係長 山崎 悠司 TEL 65-6505 内線 84-4421

新規 地域と学校の連携と協働による
「生きる力」育成事業

1 目 的

子どもたちの地域での学びを通じた「生きる力」を育成するため、地域住民や保護者、地元団体など多様な主体と学校のさらなる連携・協働の仕組みと体制づくりをめざします。

2 内 容

モデル地域を設定し、地域と学校の連携・協働の仕組みと体制づくりを進めるための実証事業を行います。

- 地域と学校をつなぎ、コーディネートを行う人材を配置します。
- 「子ども学び座」を活用し、学校と連携した学びを展開します。
- 幅広い地域住民や団体の参画を得ながら、地域と学校が連携・協働して多様な活動を行います。



3 予 算 額 4 9 3 千 円 (県 : 1 4 3 千 円 基 金 : 3 5 0 千 円)

4 効 果

- 子どもが地域住民との関わりを通して多様な経験を積むことで、主体的に課題を発見し、その解決に取り組む力を育むことが期待できます。また、地域とつながることで地域への愛着や誇りを育み、地域の将来を担う人材の育成につながります。
- 地域住民が自らの経験や知識を子どもの学びに生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場をつくるのが期待できます。また、子どもの学びを軸に住民同士のつながりができ、地域コミュニティの促進を図ることが期待できます。

担 当 : 生涯学習文化課・教育指導課
 問 合 せ : 生涯学習文化課 生涯学習係
 係長 平居 美雪 TEL 6 5 - 6 5 5 2 内線 8 4 - 4 3 2 1

放課後児童クラブ施設への ネットワーク環境整備事業

1 目 的

放課後児童クラブで使用する施設にネットワーク環境を導入し、タブレット学習に対応できる環境整備と、保護者との連絡をデジタル化することで、より充実したクラブ運営を図ります。

また、支援員の出退勤管理に必要なアプリや端末機器等を導入することで労務管理のデジタル化を図り、支援員の負担軽減と労務管理事務の効率化を図ります。

2 内 容

公設放課後児童クラブ16カ所に Wi-Fi 環境を整備し、放課後児童クラブ向けの ICT ソフトを導入します。

また、支援員の出退勤管理のアプリや機器を整備します。

3 予 算 額 7, 2 3 0 千円 (基金: 4, 7 3 9 千円 一財 2, 4 9 1 千円)

4 効 果

利用児童の適正な管理及び保護者への迅速な情報伝達を図られる。また、出退勤簿等のペーパーレス化や事務の効率化による時間外勤務の削減につながります。



担当：子育て支援課 放課後児童クラブ運営室

室長 狩野 尚士 TEL 6 5 - 6 5 1 4 内線 8 4 - 4 1 4 7



1 目 的

建物の構造的な劣化部分を改修しつつ、時代に即した機能や性能を備えることで、学校施設を健全な状態で長期間使用できるよう、令和3年1月に策定した長浜市学校施設等長寿命化計画に基づき、既存校舎の長寿命化改修事業を行います。

2 内 容

7校の小中学校における校舎の長寿命化や維持保全を図るための改修工事、部位修繕や工事設計を行います。

(1) 長寿命化改修

構造体の劣化補修、内外装改修、建具・配管配線類の更新等を行い、建物の若返りと断熱性や省エネなどの機能の向上を図ります。

- ・ 工事 浅井中学校、神照小学校、湖北中学校
- ・ 設計 浅井小学校、北中学校

(2) 部位修繕（屋上・外壁改修）

- ・ 工事 びわ北小学校
- ・ 設計 虎姫学園



出典：文部科学省「学校施設の長寿命化改修の手引
～学校のリニューアルで子供と地域を元気に！～」

3 予 算 額

773,795千円

(国：122,012千円 市債：219,600千円

基金：220,564千円 一財：211,619千円)

2,460,000千円

(令和5年度から令和9年度までの債務負担行為)

4 効 果

子どもたちに安全・安心で良好な教育環境を、安定的に提供していくことができます。

担当：教育総務課 施設管理係

係長 岩佐 政則 TEL 65-8603 内線 84-2524

拡充 学校 ICT 活用推進事業

1 目 的

学習指導要領に基づいた児童生徒の資質・能力の育成に向けて、1人1台端末等のICTを効果的に活用した学習活動の充実を図るとともに、校務の情報化による業務の軽減と効率化を実現することにより、教育の質の向上をめざします。

2 内 容

(1) ICTを活用した学びの充実

- ① 課題の配信・回収や意見の共有、共同制作など双方向のやりとりを可能とする授業支援ソフトを活用し、児童生徒の多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の充実を図ります。



- ② AIによる「個別最適な学び」を実現するデジタルドリルの活用を推進し、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図ります。
- ③ ICTを活用した授業の推進のため、ICT支援員を派遣します。

(2) 校務の情報化の推進

校務支援システムを活用することで、教務の効率化とグループウェア機能による円滑な情報共有を実現し、教員の働き方改革を推進します。

3 予 算 額 72,510千円

(基金：49,026円 一財：23,484千円)

| | | |
|----|-----------|----------|
| 内訳 | 授業支援ソフト | 10,149千円 |
| | AI型ドリルソフト | 38,877千円 |
| | 校務支援システム | 14,244千円 |
| | ICT支援員 | 9,240千円 |

4 効 果

ICTを活用し、児童生徒中心の授業や学びを展開することで、学力・学習意欲の向上や学びの深化・転換を図ることができます。

教員はシステムに蓄積された児童生徒に関する各種情報の分析や共有により、細やかな学習指導や生徒指導などの教育活動を実現することができます。



担当：教育改革推進室 学校ICT活用推進係
係長 沢村 志穂 TEL 65-8604 内線 84-2541

新規 部活動の地域移行推進事業**1 目 的**

中学校の部活動を学校と地域が連携しながら、地域団体等が実施する活動へ段階的に移行することで、子どもたちが多様な活動を体験できる機会を提供し、少子化の中でも将来にわたり活動を継続して取り組むことができる環境づくりを推進します。

2 内 容

長浜市の実情に応じた部活動のあり方や地域移行の取組方針を示した「(仮称)長浜市部活動の地域移行推進計画」を策定し、部活動の新しい取組を推進します。計画を策定するため次の取組を行います。



- (1) 「部活動の地域移行推進協議会」の設置・運営
- (2) 地域移行を想定した部活動を試験的に実施（モデル的部活動）
- (3) 生徒・保護者等を対象としたアンケートの実施

3 予 算 額 3,461千円

(県：2,202千円 一財：1,259千円)

4 効 果

子どもたちのニーズに応じた持続可能な活動が実現できるとともに、地域での活動を通じて多様な経験が積み、「生きる力」の育成や、地域への愛着形成につながります。

また、地域での文化スポーツ活動の更なる発展や学校の働き方改革を推進することも期待できます。



担 当：すこやか教育推進課・教育指導課・スポーツ振興課・生涯学習文化課

問合せ：すこやか教育推進課 健康教育係

係長 米田 善徳 Tel 65-8606 内線 84-3512

新規 子ども食堂等活動団体支援事業



1 目 的

地域の子どもの食生活支援及び居場所づくりのための活動を行う団体を支援することで、団体の育成と地域福祉活動の活性化を図ります。

2 内 容

地域の福祉活動として子どもたちの居場所づくりや子ども食堂等を定期的で開催している団体に対し、子ども食堂等活動団体支援補助金を交付します。
(補助率：1/2、補助上限：2万円)



3 予 算 額 160千円
(一財：160千円)



4 効 果

地域の子どもの食生活支援及び居場所を提供する団体を支援し活動の安定化を図ることで、地域福祉活動の活性化及び市民生活の維持・向上につながります。



担当：社会福祉課 地域福祉係
係長 沢本 勘与 ㊚65-6536 内線84-4106

新規 長浜子ども家庭センター運営事業



1 目 的

生まれる前から成人期までの子どもと家庭への支援により、子どもの健やかな成長を後押しするとともに、それぞれが抱える様々な複合的課題に対応し、誰一人取り残さない切れ目のない包括的な支援を行うため、母子保健、児童福祉、しょうがい福祉部門が横断的に連携し、妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を行う体制を構築します。

2 内 容

(1) 妊産婦をはじめ、子育て世帯、子どもへ一体的な相談支援を行う機能を有する「長浜子ども家庭センター」を設置し、子どもに関するあらゆる悩みや不安に対し、子育て支援課を中心に、健康推進課、しょうがい福祉課など関係機関が連携して総合的・継続的に包括的な支援を行います。



(2) 地域子育て支援センター等の地域の子育て相談機関と連携し、子どもの声や子育て相談に対応するとともに、未就園児家庭へのアウトリーチをはじめ、支援の必要な家庭を適切な機関へつなげるためのサポートプランを作成します。

3 予 算 額 2, 3 2 8 千円

(国：1, 5 5 1 千円 県：3 8 7 千円 一財：3 9 0 千円)

4 効 果

妊産婦、子育て世帯、子どもの状況を把握し、それぞれが抱える様々な課題に対し重層的・包括的な支援を行うことで、育児不安の軽減や児童虐待の予防、子どもの健やかな成長につながります。

担当：子育て支援課 家庭児童相談室

室長代理 森 奈津子 TEL 6 5 - 6 5 4 4 内線 8 4 - 4 1 5 2

長浜こども家庭センター体制図 (R5)

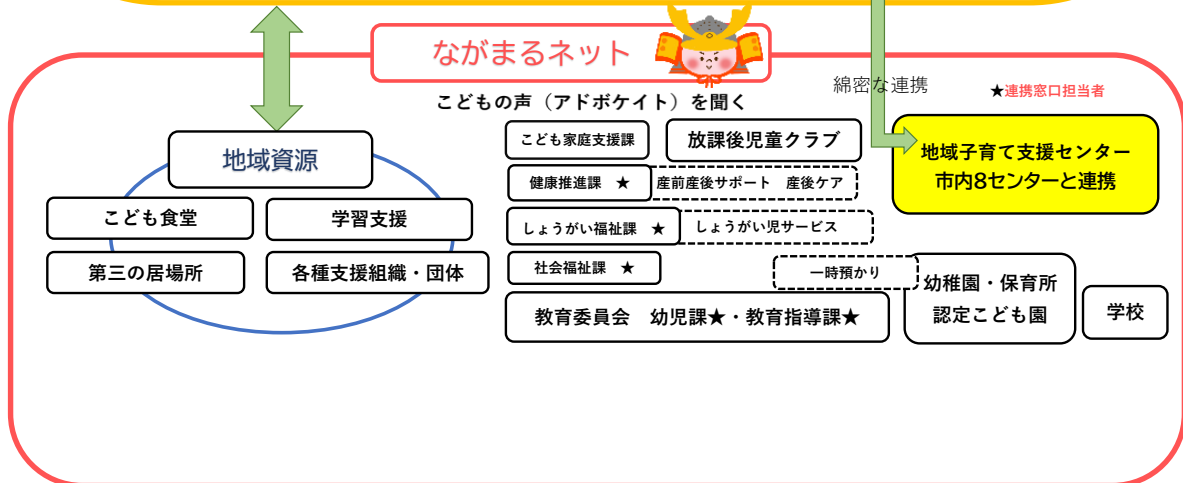
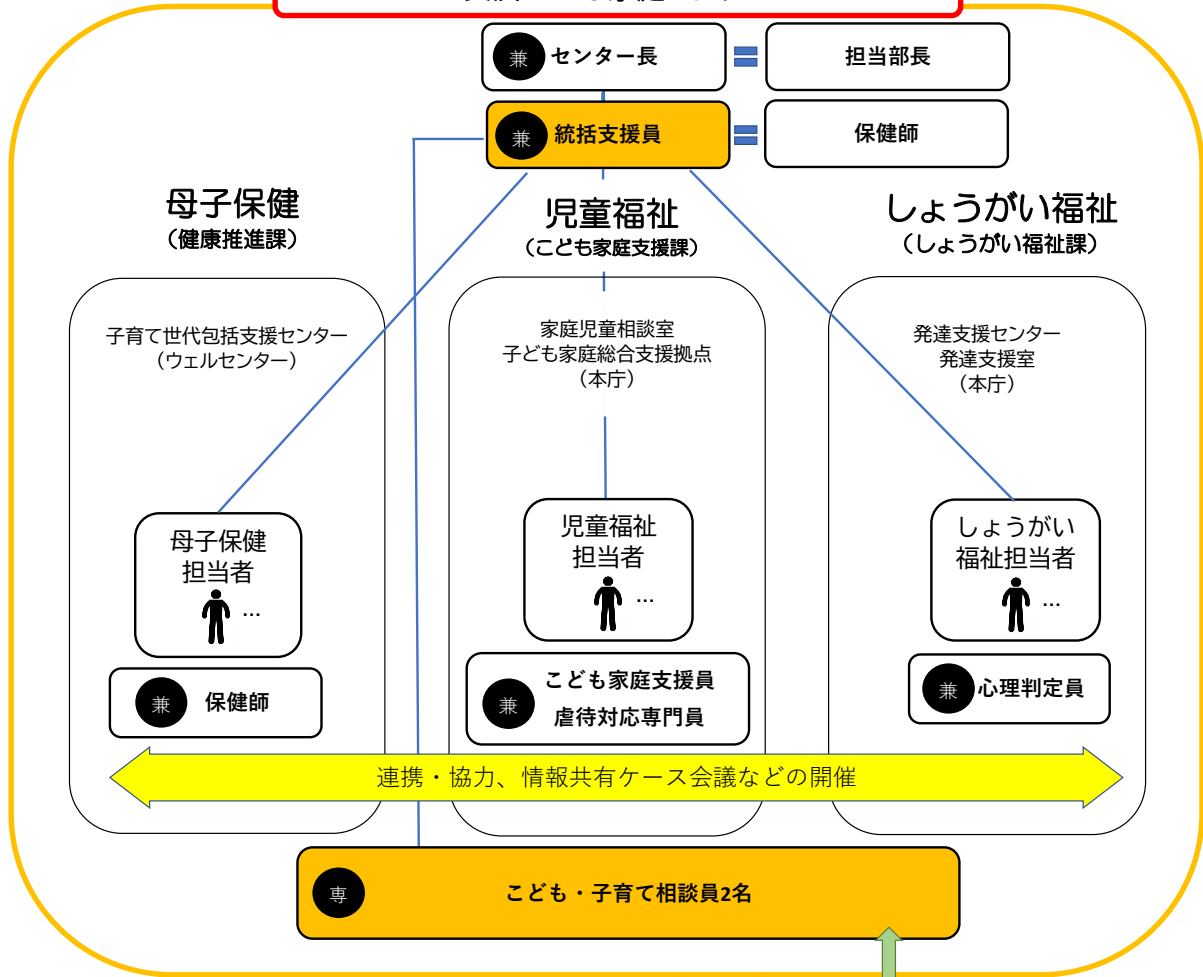
目的

すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を行うため、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点、発達支援室との連携強化を行う体制整備を行う。

業務

- 妊産婦、子ども・子育て関係の総合相談窓口、転入者への子育て支援など
- 児童及び妊産婦の福祉や母子保健の相談等
- 把握・情報提供、必要な調査・指導等
- 関係機関等との総合調整
- 支援要する子ども・妊産婦等へのサポートプランの作成
- 保健指導、健康診査等
- 地域資源の開拓

長浜こども家庭センター



新規 民間子育て支援センター新設支援事業

1 目 的

地域子育て支援センター（公設4カ所、民間4カ所）では、子育てに関する専門的知識を持つ職員を配置し、子どもと保護者の相互交流の場の提供、子育て相談、情報提供、助言等の子育て支援を実施しています。

しかしながら、少子化や核家族化、長期化する新型コロナウイルスの影響等、大きく社会環境が変化する中、地域や家庭における子育ての機能低下や子育て世帯の親の孤立感や不安感を軽減するため、施設サービス基盤の整備を図ります。

2 内 容

家庭で子育てをしている未就園児の保護者の負担軽減を図り、子育て支援の充実を図るため、社会福祉法人ははのくに（設置場所：長浜市今川町）に対し子育て支援センターの整備に係る費用の一部を補助します。



3 予 算 額 14,244千円（国：9,496千円 一財：4,748千円）

4 効 果

子育て家庭の孤立の防止、子育ての不安感・負担感の軽減、また親子同士の相互交流の場が増え、子育てしやすいまちづくりに寄与することが期待できます。

担当：子育て支援課 子育て支援係
課長代理 伊吹 宗人 TEL 65-6514 内線 84-4141

1 目 的

社会福祉法人等が整備する教育・保育施設の建設費用を補助することで、新たな施設の整備を促進し、待機児童の解消と教育・保育環境の充実を図ることを目的とします。

2 内 容

市内において、認可保育所等を整備する社会福祉法人等に対して施設整備事業費の補助を行います。

○負担割合：国・県・市 3 / 4
事業主 1 / 4

3 予 算 額

190,118千円

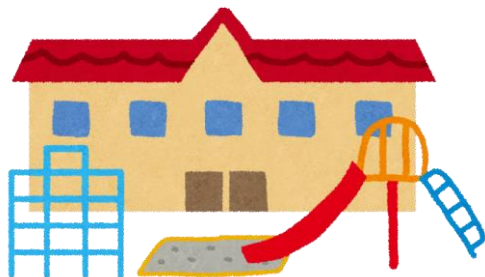
(国：168,994千円 基金：21,124千円)

240,000千円

(令和5年度から令和6年度までの債務負担行為)

4 効 果

新たな教育・保育施設の整備により待機児童の解消と教育・保育環境の充実が期待できます。



担当：幼児課 管理係

課長代理 大音 孝次 TEL 65-8607 内線 84-3521

新規

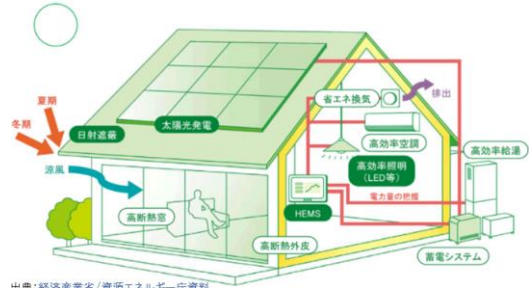
子育て世帯・若者夫婦の ZEH住宅等新築支援事業



1 目 的

ZEH住宅等新築支援事業は子育て世帯・若者夫婦による高い省エネ性能を有する住宅の取得に対して支援することにより、戸建住宅の省エネルギー化をより一層促進することで、2050年のカーボンニュートラルの実現を目指します。

■ZEH住宅のイメージ



出典：経済産業省/資源エネルギー庁資料
※ZEH（ゼッチ）とは「Zero Energy House」の略で、エネルギー消費量が現行の省エネ基準から20%以上削減され、太陽光発電などと合わせて、実質的なエネルギー消費量がゼロになる住宅を言います。

2 内 容

子育て世帯または若者夫婦世帯が、こどもエコすまいる支援事業をはじめとした国の補助を利用するなど、市内で高い省エネ性能（ZEH水準相当）を有する住宅の新築や購入を行う場合に、長浜市独自の上乗せとして50万円を補助します。

【利用例】

| | | |
|--|---|---|
| こどもエコすまいる支援事業 【国庫補助】 | + | 長浜市子育て・若者夫婦 世帯の ZEH 住宅新築支援事業 |
| 子育て世帯または若者夫婦世帯 による ZEH 住宅の新築に 100万円/戸 | | 左記の国補助を受けた方に対し 長浜市独自の上乗せ措置として 50万円/戸 |
| ※子育て世帯または若者夫婦世帯… 18歳未満の子を有する世帯または夫婦のいずれかが39歳以下の世帯 | | |

3 予算額 17,500千円 (一財：17,500千円)

4 効 果

省エネシステム、断熱の強化によって、光熱費が削減されることで、温室効果ガスの排出量を抑制することが可能です。

また、子育て世帯及び若者夫婦の住宅取得を支援することで、本市への定住を促進します。

担当：住宅課 住まい政策係
係長 千田 金典 ㊚65-6533 内線84-2212